

カテゴリ【7】優先発注

優先
調達

役務
清掃

市からの委託を受けて公園を就労継続支援A型が清掃。イキイキとした職場で公園もピカピカに

Point

- 市からの業務委託を優先発注
- 役務（清掃）の優先発注事例
- 清掃作業（役務）は知的障害者の忍耐強い作業特性を活かす職務の一つである。



本事例の背景

- ときわ公園では、全国に先駆けて、昭和37年から知的障害者を訓練生として受け入れ、園内での花づくりや水やり、草刈りや清掃などを職員と一緒に行ってきたが、障害者自立支援法や優先調達推進法の施行などを受け、これまでの訓練生制度を雇用制度に発展させ、「環境・芸術・スポーツ・福祉」の融合した先進的なモデル公園を目指していくもの。

本事例おける、それぞれの役割や経過

宇部市ときわ公園障害福祉サービス

- 支援者に対する声かけについて、意欲を持ちつつ、安心して働けるような丁寧な指導を心掛けている。
利用者が安心して働くことで職場の話が家庭でもよく話すため、家族も安心して清掃作業に送り出せている。
- 仕事が習熟して多くの清掃作業がこなせるようになり、仕事の成果が非常に上がっている。

宇部市役所

- 「常盤公園の適切な管理運営を行う体制が見込める法人であること」など定める要件を満たす法人に、就労継続支援A型事業所として委託を行う。
- 障害者の働く場の確保のため、本、公園清掃業務を優先発注する。

本事例における効果

- 利用者の作業の習熟とともに、公園の美化が促進されている。
- 一般の事業者では入札を諦めるような仕事量をこなすことができおりコスト的にも、公園美化向上としてもメリットがある。

「宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所」



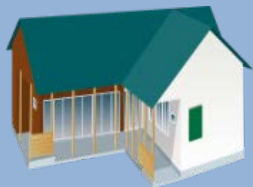
就労継続支援A型事業所
宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所
所在地
〒755-0003
山口県宇部市則貞三丁目4番1号

環境と福祉のBest Mix

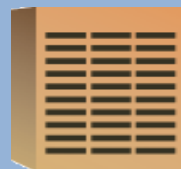
市と連携し古着の回収を実践！

Point

- 市民へ環境保護と、福祉事業所の理解を促進
- 3年に渡る実践により、少しずつ地域に定着
- 古着の回収により、原料代を圧縮し工賃へ還元



家庭から古着を
市の施設へ



市の施設から
セルブ藤山が回収

事業実施のきっかけ、経緯

● もともとセルブ藤山の校区で月1回の不燃物等回収時に、古着を好意で頂いていたが、同市の廃品等採取防止条例が施行され、同校区より古着の回収について続けて欲しいと訴えがあり、市は古着を全校区をあげ、ふれあいセンターや市役所・図書館等30か所へ回収ボックスを設置される。セルブ藤山は市と契約を結び古着の回収業務を請け負うこととなった。また、必要に応じ個別（個人宅への訪問）対応を実施して高齢世帯への回収を実践している。

事業概要

- 市との契約によりふれあいセンター等30カ所に古着の回収ボックスを設置し、直接の連絡により古着を直接回収する。
- 活動を通じ、環境保護と福祉事業所のPRの実践している。
- 頂いた古着は、工業用ウエスの原材料として、仕分・製造・販売・配達を行ない、工賃への還元に充てている。

成果

- 年間900回以上の回収を行い、年々増加傾向にある。また、個別の対応を実践して周知度も年を追うごとに増える。
- 回収量も年間40トンから60トンあり、正規ルートでの買付に勘案すると400万～600万円分の効果に匹敵をする。ただしゴミの処分代としても増加傾向があり、回収のリスクも少しずつ増加している。
- 工賃への影響は大きく、収入が減少しても1,500円の増額ができ、また高価な原料の買付も可能となり安定した原料を備蓄（約40トン程度）ができた。

今後の展望

- 前年度対比で130%増の回収を実践し、更に古着の回収量も増加する傾向があり、少しずつ市民へ浸透しつつある事業である。
- 市役所とも連携を密に、市の環境・社会貢献活動の先端を担う事業へ成長ができる。



行ってまいります。
挨拶を心がけています。

皆さんからお預かりした
大切な古着です。



心を込めて配達
感謝を込めて回収



市民より寄せられた
古着(図書館)



オゾン殺菌をし
素材ごとに選別



商品化されたウエス

事業所より一言

愛されて全国500社・北海道から九州まで
25年に渡る南風荘のウエス
商品も50種類以上で、何処にもないものがここにある？
一般企業には無いQuality & Serviceをお届け致します。

本事例の事業所紹介



(事業所写真)

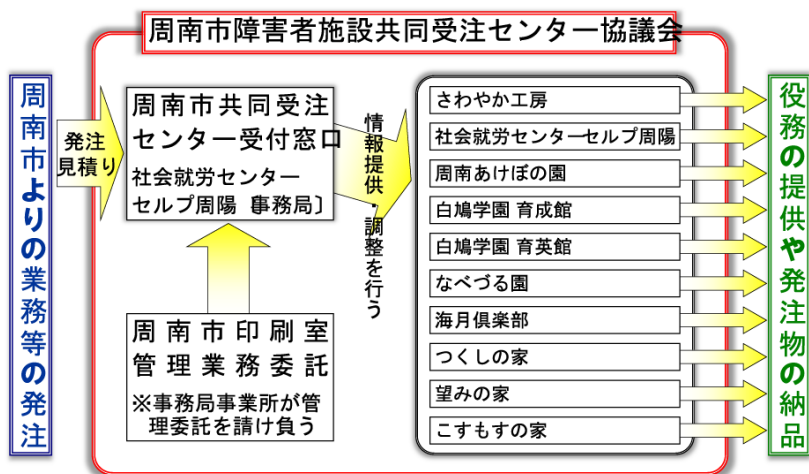
社会福祉法人南風荘 セルプ藤山
〒755-0808
山口県宇部市西平原4丁目2342-1
TEL 0836-38-6666 FAX 0836-38-6667

URL [藤山ウエス](http://www.selp-f.com) [検索](#)
E-mail selp-f@cosmos.ocn.ne.jp

【周南市障害者施設共同受注センター】

Point

- 官公需の優先調達窓口として機能
- 施設外就労の増加
- 工賃向上



事業概要

- 市内の福祉的就労を行っている事業者が参集した共同受注センターを設置
- 周南市等からの発注を共同受注センターが一括して受け、受注調整を行う

成果

- 窓口が一本化された事で、周南市や企業から発注しやすくなった
- 一施設では受注できなかった大きな仕事を、複数の事業所で分担する事で受注可能となった。
- 安定した単価での受注量が増えた事で工賃アップに繋がった。

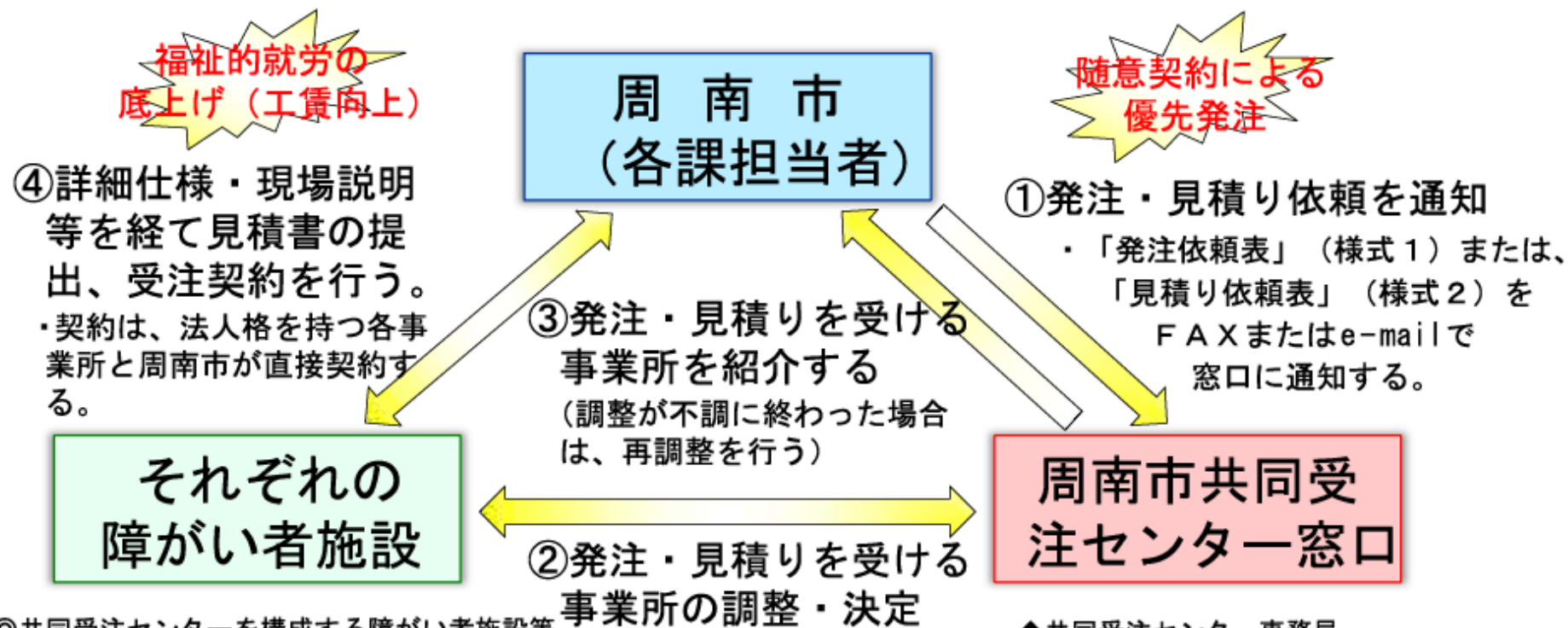
事業実施のきっかけ、経緯

- 周南市地域自立支援協議会就労部会で協議
- ① 福祉的就労の底上げのためには、官公需の優先発注が有効
 - ② 官公需の優先発注を受けるためには、発注先の公平性を担保する必要がある
 - ③ 詳細は、福祉的就労を行っている市内の事業所が参集し協議してはどうか

今後の展望

- 官公需よりさらに大きな市場である民需の獲得
- 福祉事業所の社会的な使命に基づく目的意識の醸成

官公需業務の発注・見積りフロー図



◎共同受注センターを構成する障がい者施設等

さわやか工房	なべづる園
周南あけぼの園	海月倶楽部
白鳩学園	つくしの家
(育成館・育英館)	望みの家
セルフ周陽	こすむの家

- ・e-mailで全事業所に情報提供し、希望事業所は返答する。
- ・複数であった場合は、センターが調整する。
- ・既得権による優先受注あり。

◆共同受注センター事務局
社会就労センターセルフ周陽
担当：通山様あて
〒745-0823
周南市周陽2丁目8番28号
FAX：0834-28-7403
E-mail:shunan-c@selp.or.jp

カテゴリ【4】企業連携

【企業と連携し工賃UPを目指す】

Point



- 企業と連携し工賃UPを図る。
- 利用者の働く意欲の向上。
- 商品の安定供給、品質管理。

事業実施のきっかけ、経緯

● 同一法人施設で始まった「はんぷ工房 結」はバッグ等を製造販売の事業。当初、地元のバザーやイベントなどに出展するが、工賃向上までには至らない。

「障害者の仕事」を、知ってもらうために施設独自企画のイベントを2回開催し、計3,500名を集客し、地元では一定の知名度をあげる。しかし、安定した収入確保には至らなかった。

● 平成24年度に当施設に事業を移し、常設の店舗を構えることにより、今までの顧客に加え、新たな顧客を得ることができた。

この頃から、小売店を始め、一般企業からのノベルティグッズ等として当施設のバッグが採用され、注文が増えてきている。また、最近、地元の伝統芸である織物とのコラボバッグの共同制作を持ちかけられ、製品化にこぎつけた。

事業概要

- 倉敷帆布での手作りバッグの製造販売。
- 企業向けノベルティグッズ作成。
(お店や企業との共同制作バッグ)
- プリントバッグの作成。

成果

- 受注増にともない利用者の意欲が向上。
- 共同制作によって商品の幅が広がる。
- 企業とのコラボレーションによる知名度の向上。
- 商品を安定供給することで作業工程などを見直し品質が向上した。

今後の展望

- プリントバッグの展開による一層の企業連携強化を図る。
- 新作バッグ（プリント）など商品開発に取り組み店舗売上向上と共同制作の拡大を目指す。

はんぷ工房 結 販売店舗



店内、はんぷバッグ(製品内容)



はんぷ工房「結」のお店は、光あけぼの園内にあり、すぐ横に工房があります。お客様が来られた時は、みんなが作業している様子を見ることが出来ます。実際に工房内に入られ会話を楽しむ場面もありお客様と直接会話することで更に働く意欲向上につながっています。

連携企業紹介

Honda cars 光東



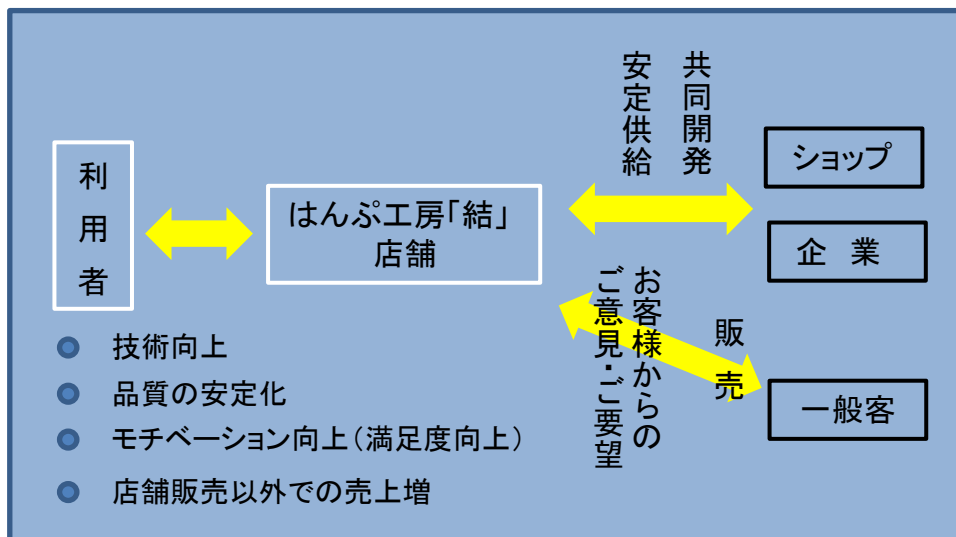
柳井縞



jams garden



yamaguchi



本事例の事業所紹介

社会福祉法人 大和福祉会
光あけぼの園

〒743-0046 山口県光市木園1918-1
TEL 0833-74-3333 FAX 0833-74-0011

【障害者が繋ぐ地域の暮らし“ほっとかない”事業】

Point

- 山間部の買い物難民へ買い物支援
- 高齢者世帯への見守り支援
- 障害者が地域社会への進出

過疎地域（限界集落）への移動販売

- ① 移動販売車による授産製品等の販売
- ② 見守りによる過疎地域の生活支援
- ③ 対面販売により社会参加機会の増加
- ④ 障がい施設との地域交流
- ⑤ 地域活動との協調

買物弱者対策への
新たな提案

実証実験

県の支援

- ・ 情報提供、利用調整
- ・ インターネット等により事業紹介 等

移動販売

見守り

ニーズ把握

施設と交流

- ・ 授産製品
(お弁当、パンなど)
- ・ 生活用品(地元と連携)

事業実施のきっかけ、経緯

● 人口減少と高齢化の進行により、山間の過疎地域の買い物難民と呼ばれる高齢者が増加している。そういった方々に、障害者が生活支援や見守り、話し相手として活躍できる場を生み、地域を支える主役となれるようにと、この宅配サービスを始めた。

事業概要

- 毎週2回（木曜日と金曜日）宅配を実施し、見守りや状況の確認を行なう。
- 配達日の2日前に、電話での注文伺いや状況の確認を行なう。
- 宅配の実施人員は、職員1名と利用者2名で実施。

成果

- 交通手段がない高齢者の方には、家庭まで荷物を運んでくれるので、大変喜ばれている。
- 障害者のマナーが身につき、仕事にやりがいを持って取り組むことが出来ている。
- ひとり暮らしの高齢者の方には、障害者の方と話をするのを楽しみにしている方もおられる。

今後の展望

- 現在高齢化が進み、市内でも高齢者のみの世帯が増えてきているので、販売エリアの拡大を行なっていく。
- 施設の商品である食パンや弁当の販売を中心に、売り上げの増加を図っていく。



(山間地への宅配写真)



(宅配時の写真)

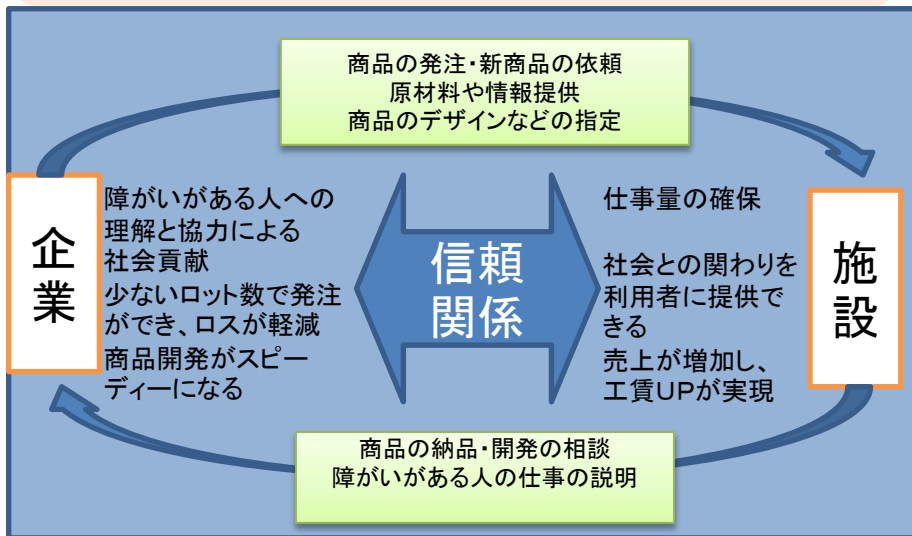


【企業コラボ商品による企業との連携】

就労継続支援B型事業

Point

- 企業と福祉のWinWinの関係の構築
- 企業戦略に沿った商品開発
- 企業の販路による販売数の確保



事業実施のきっかけ、経緯

- 取引先で知り合い、名刺交換をした。その後、情報交換を重ねる中で、平成22年に開催された『せとうち芸術祭』に合わせたアイスクリームの商品化の相談がある
販売商品 『直島塩アイス』
- 県の助成事業に応募し、販売するために必要な助成を受けるなど、企業にもメリットがあった
- 地域限定の商品などの開発を中心に、コラボ商品が継続して発売されている

事業概要

企業（土産物卸店）の戦略に沿ったスピーディーな商品開発

アイスクリーム関連商品
地域限定商品数・・・小豆島・2種類 直島・1種類 徳島・1種類
淡路島・3種類
エリア全般・・・5種類
揚げ菓子関連商品
あげうどん・・・3種類 かりんとう・・・3種類

成果

- お互いに良好な関係を築き、商品開発にあたり、企業の売上UPにも貢献している
- 施設の商品力を上げ、事業所独自の商品にもそのノウハウを活かした商品づくりをしている
- 一般市場に合わせた製造現場の作業工程ができた
- 商品の原材料や市場の情報などを入手できた
- 一定の作業量が確保され、工賃増額もできた

今後の展望

- 今後も良好な関係を継続して、商品開発・販路拡大に連携していく
- 企業戦略に合った商品を提供・提案していく
- 新商品の販売もいくつか決定しており、今後の売上の増加に期待が持てる

既存の商品を活かした商品

あげうどん・・・
梅塩
きなこ
コンソメ



地域に合わせて開発した商品

小豆島・・・オリーブ茶アイス 小豆島醤油アイス
直島・・・直島塩アイス
徳島・・・焼き芋アイス
淡路島・・・淡路牛乳もなか びわもなか ブルーベリーもなか



作業風景



平成26年3月販売決定商品

- 既存の商品を企業商品として販売
あげうどん（きなこ・コンソメ）
- アイスクリーム（和三盆・希少糖を使った商品）
（すだちシャーベット・
和三盆いちご・和三盆バニラ・和三盆黒蜜）
- 既存の商品の製造工程を利用した新商品の開発
例・かりんとう 和三盆・希少糖・希少糖オリーブ



継続して良い信頼関係を築くために、お互いのニーズをよく理解し、それぞれにメリットがある形で連携することが大切。商品づくりを通して、福祉以外の職種の方にも、障がいがある人への理解を深めていただけるように感じています。

社会福祉法人 やまびこ会
D○やまびこ

〒761-8057

香川県 高松市 田村町1010番地

TEL 087-868-6971

FAX 087-868-6972

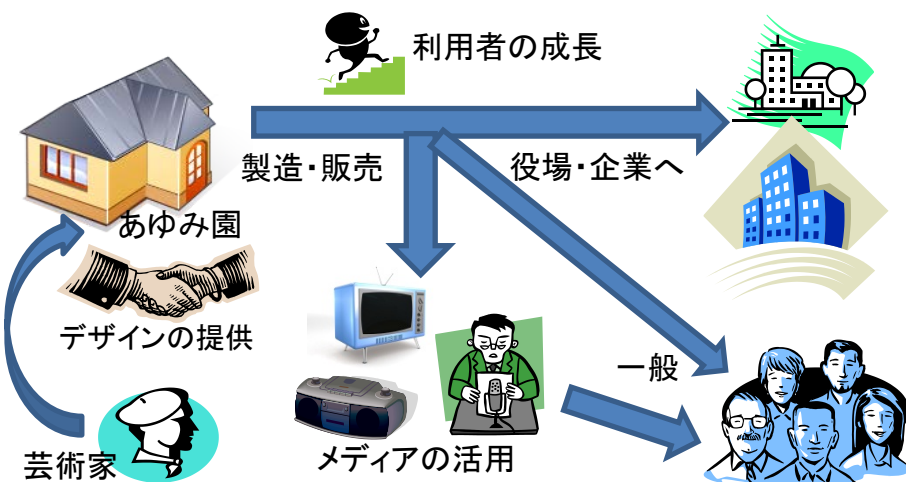


【地域芸術家と連携した 自主製作品の販売促進】

Point



- 世界的にも有名な芸術家(彫刻家)の方のデザインである。
- 地域のメディアをめいっぱい活用している。
- 工程によっては障害の重い方でも関われる部分が多い。



事業実施のきっかけ、経緯

当時、単価が低く、単調な作業が中心であった。相談を受けた芸術家から鋳込みの方法であれば、同じものが量産でき、利用者の仕事としてうまくマッチするのではないかと提案いただいた。

事業概要

- 法人スタート以来20年間続いている。毎年、原型となる作品をいただき、それをもとに石膏型を作り、あゆみ園にて製造販売している。

成果

- 年間600~1000個(@3000円)の売り上げ、自主製作品の中では断トツで、20年間当園を支えていただいている。
- 地域の方にも、たくさんのリピーターがおり、毎年楽しみにされている。
- 鋳込みの方法は、難しい技術ではあるが、繰り返すことで、利用者は干支づくりのプロに成長。役割と自信をつけ、良い訓練となっている。

今後の展望・課題

- 12子も二週目になり、全盛期に比べ半分ほどに売り上げが、落ち込んでいる。新しい顧客の獲得と販路の拡大が課題。
- 瓦焼の干支のこだわらず、白磁のランプシェードやお香入れなど、長年培ってきた鋳込みの技術を使って、可能性を広げられないか、試行錯誤中。



石膏型に粘土を流し込み、型が水を吸い込み、外側が乾けば中身を捨てる。 → 型抜き → 焼き → ワックスがけ



20周年モニュメント（速水史朗氏作）

讃岐の独特のおにぎり山をイメージしたとてもあったかいデザインのシリーズになっています。ひとつひとつ丁寧に作り上げています。

社会福祉法人 香川県手をつなぐ育成会
あゆみ園

〒761-8058
香川県高松市勅使町
398番地18

TEL087-866-0111

FAX087-866-0670

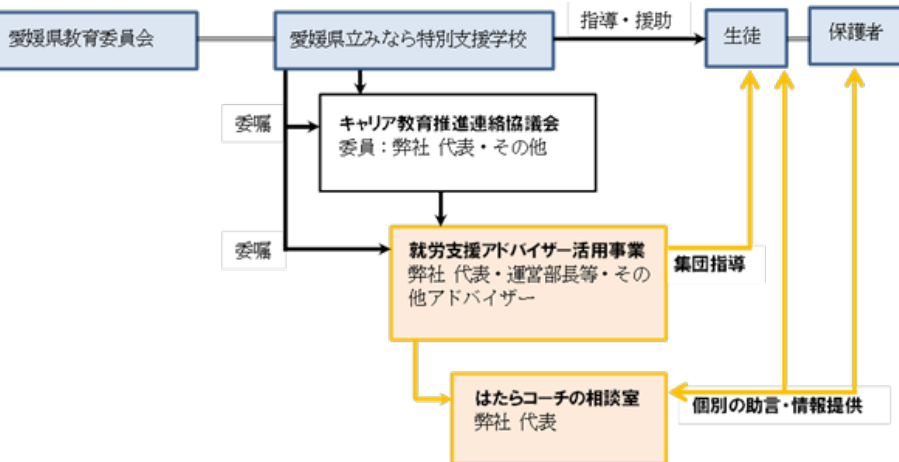


カテゴリ【5】学校との連携

【特別支援学校や自治体との就労支援】

Point

- 先生とアドバイザーが一体になってキャリア教育を推進。
- “はたらコーチ”が、実習の事前に不安や疑問に答え、事後に実習のポイントを解説して、実習効果が高まる。
- 保護者も、卒後の子どもが働くイメージがもてる。



事業実施のきっかけ、経緯

- 進路担当の先生は実習先対応で手一杯。保護者は進路の情報が不足。生徒は自分の適性が分からない。という声を聞き、幾人かにヒアリングすると同意見で、就労支援の潜在的課題だと感じたことが背景。
- その課題解決のためには「キャリア教育」の特別支援学校での導入が有効と考え、弊社代表が、ボランティアでキャリア教育のお手伝いをさせて頂いていたことがきっかけ。
- 愛媛県教育委員会が、特別支援学校キャリア教育推進事業の一環として2012年から「就労支援アドバイザー活用事業」に！

事業概要

- 障害者雇用に取り組んでいる事業所の関係者等を就労アドバイザーとして招へいし、職業現場の視点から、次のような助言等を得ることにより、指導内容及び指導方法の充実を図る。
 - ①教職員研修における講義や、作業学習、授業、現場実習、校内実習に関する助言、または進路開拓や事業所訪問に関する助言。
 - ②早期段階から生徒・保護者に対する卒後の進路支援。

成果

- 就職率が1%から2%へと倍増（2013年度実績）。
- アビリンピック喫茶サービス部門にて2大会連続全国大会進出（2011・2012年実績）。



それぞれの生徒が「未来の働く自分」を実感し始めた。

今後の展望

- 働く先輩（ロールモデル）を今後も増やせるよう、学校・PTAとしっかり連携したキャリア教育を一層行い、生徒全体の底上げを図る。
- 中小企業を中心に、実習先を県下に広げるために、経済団体との連携の下地づくりを行う。



↑ 福祉的就労・入所施設利用に関するご相談。



↑ アビリンピック全国大会に向けて、精一杯、練習中！ ↑



↓ 一般就労・学校生活に関するご相談。



事業所より一言

【学校から社会へ！】

健常の若者にとって当たり前な進路が、障がいがある若者にとっても、より当たり前になるように。

教育・福祉・労働の「垣根なき協働」に、ご理解、ご協力賜れば望外の喜びです。

本事例の事業所紹介



 **まるく株式会社**

〒791-8011 愛媛県松山市吉藤3丁目
4-6 ソーシャルビル

TEL 089-911-1047 FAX 089-924-0221

http://maruc.biz Email info@maruc.biz

【過疎、高齢化地域における 地域住民との連携】

Point

- 休耕田や減反農地の有効活用
- よもぎ湯の原料となるよもぎの収穫量UP
- 過疎高齢化の進む地域における社会貢献



事業実施のきっかけ、経緯

● 当事業所の自主生産品の中心を担っているよもぎ湯は、近隣の農地を借り受け、植え付け栽培したものを原料とし製品化してきた。当初は主に減反政策地を有料、かつ草刈りなどその土地の管理も条件で借り受けていた。近年になり、益々地域の農家の高齢化が進み、後継者不足も深刻化してきたこともあり、そのような事情を抱える農家さん側から『土地を管理してもらえたら無償でいい』と言う貸出しの申し出が来るようになってきた。

事業概要

- 就労継続支援B型、就労移行支援の多機能事業所
- 自主製品としてよもぎ湯
よもぎ餅や桜餅、シフォンケーキなど加工品の製造販売

成果

- 耕作面積が増え（約4ha）乾燥した状態で3t以上のよもぎが収穫できるようになった。
- 近隣の農家から土地の貸し出しの申し出を受けることで、地域社会への貢献度が増した。
- 急斜面の草刈りや体調がすぐれない時の米運びなど近隣の人達からの相談を受けるようになった。
- 農地以外でも、後継者不足や工房設備が整っているという理由もあり加工品の製造販売依頼があった。

今後の展望

- 今後も農地の借り受け面積を広げることでよもぎの生産量を増やし、よもぎ湯の販売拡大を目指す。また、よもぎを原料としている製菓会社などへ売り込みを図っていく。
- 事業所が管理しきれない状態になる前に、よもぎと比較して少ない労力で栽培でき、工賃UPに結びつけるためにも収益率が高い薬草の栽培に挑戦していく。



植え付け

黙々と…地道な作業



刈り取り

こんなに大きくなります。
刈り取りはかなりの重労働！



袋詰め

根気がいる作業



完成品

事業所より一言

除草剤や農薬を使わずに栽培したよもぎを乾燥させ、一つ一つ丁寧にパック詰めし入浴用として産直市やインターネットなどで販売しています。

本事例の事業所紹介



NPO法人 結の会 ゆいの里

〒798-1124

愛媛県宇和島市三間町増田20

(事業所写真)

TEL 0895-20-7128

FAX 0895-20-7128

ワークスみらい(高知)の取り組み

Point

- 「仕事をちょうだい」ではなく「一緒に事業を」
- 利用者の仕事に自信がつけば一般就労者へ
- 利用者が自信を持って作業を行っている。



事業の成果

- 従来の仕事を受注する形態ではなく、企業等とコラボし、「事業」を行い仕事を作っている。
- 就労継続支援A型事業所でも、仕事に慣れ自信がついた段階で一般就労への支援を行う。
- 利用者に対して最低賃金以上を保障し、働く場を安定的に保障している。

事業実施のきっかけ、経緯

設立の経緯(竹村さんより)

「高知市社会福祉協議会では、障害者福祉センターでソーシャルワーカーとして働いていましたが、そこでは「かわいそうな障がい者のために何かをしてあげる」という目線での福祉のあり方にぶつかりましたね。ティッシュや割り箸の袋詰めなど、「この程度の仕事しかできないだろう」という固定観念だけで障がい者に与えられる作業内容。それを「時給50~100円の賃金でも仕方ない」と言う障がい者。葛藤していましたね。そういった現実の中で、障がい者や彼らの家族から先生と慕われて、毎月高い給料を受け取っている自分の存在に...。葛藤と憤りを抱えながらも、安泰な場所に居続けている自分に矛盾を感じていましたが、気がつくと15年が経ち、ようやく2004年に退職しました。

自分自身がきちんと働いて、障がいのある人と一緒にご飯が食べられるようになるまでがんばらないといけないというところに身を置くべきじゃないかと思い、退職後は、すでに始めていたNPO法人ワークスみらい高知の活動に本腰を入れながら、並行して、障がい者の就労支援のためにカフェなどの経営を始めました。」

今後の展望

- 就労継続A型の良好な運営に関する寄与
- 工賃向上から雇用の創造へ。

A型利用者も積極的に接客・調理を行う。仕事に慣れて自信がつけば一般就労へ



—写真 接客や調理を行う A型事業所ワークスみらい高知 利用者—

竹村さん

—今までの福祉というのは、企業に対して「仕事をちょうだい」というスタンスでした。これだとティッシュの袋詰めなど、内職レベルの仕事しかもらえない。ではなくて、「一緒に仕事を生み出しませんか」となって、はじめてビジネスが生まれる。恩恵や慈善ではない、双方にメリットのあるビジネスを構築することがこれからは必要なんです。

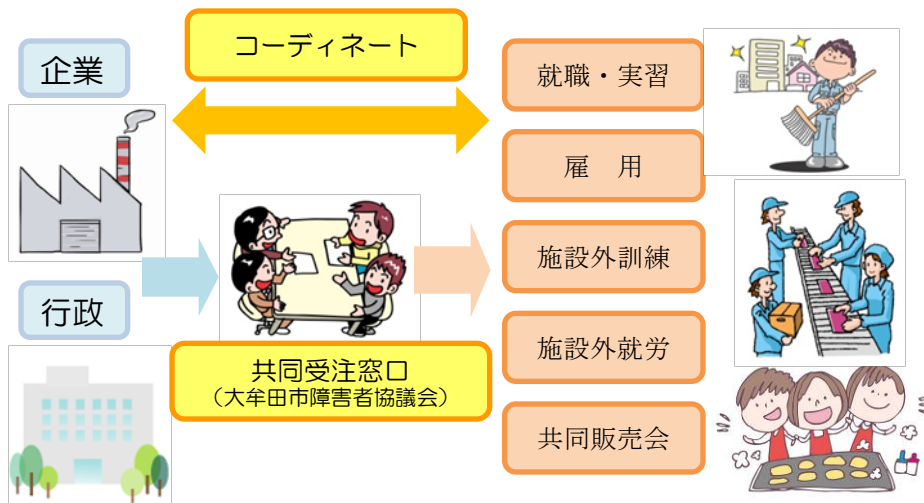
挨拶ができない、遅刻・無断欠勤、接客や調理にそぐわない不衛生な身なりなどは、障がいの有無に関係なく、ビジネスの世界では通用しません。ここで障がい者であることを理由に許しを請うのは単なる甘えなんです。だから、障がい者スタッフには基本的な生活態度を徹底的に教え込んでいます。企業は決して障がい者の就労支援に冷たいわけではなく、基本的な生活態度の備わっている障がい者にはチャンスを与えてくれる。問題はむしろ、一般就労を果たすこと自体が就労支援のゴールだと勘違いされて、一般就労後に定着して働き続けるためのバックアップ体制が薄い点にある。一般就労後の障がい者と受け入れ企業双方へのフォローには、今後も力を注いでいきたいですね。

カテゴリ【7】共同受注

【大牟田市における共同受注システム】

Point

- 行政だけでなく民間企業からの相談にも対応
- イベント企画会社と協働で大型店舗での物品販売
- 行政や企業のニーズに応じた幅広い選択肢を提案



事業実施のきっかけ、経緯

- 行政や企業が、障害者施設へ作業委託をお願いしたいと思っても、どこに相談したら良いかわからないため、せっかくのチャンスを逃してしまう事があった。
- 条件等の交渉において、ノウハウや経験が不足していたり、施設間で委託金の値下げ競争になるなどした結果、業務に見合う委託料が得られないケースがあった。
- 各施設単独で企業などに営業活動できる余裕がなかった。

事業概要

- 障害者施設への作業委託から障害者雇用までの総合的な相談窓口を一本化することにより、行政や企業のニーズに応じた選択肢を提供できる。
- 一つの施設で対応できない作業量や納期であっても、複数の施設で対応できる。
- 作業内容によって、その企業での障害者雇用、当法人が受託して障害者雇用、移行事業所利用者による職業訓練、B型や地活等の施設外就労・・・など、幅広い選択肢が提供できる。

成果

※事例の一部

発注	受注	内容	摘要
行政	当法人	資源ごみの選別作業	9名の障害者雇用、実習受入
民間	当法人	有料ゴミ袋の配送	2名の障害者雇用
民間	移行・B型等	有料ゴミ袋の検品	5つの施設でシェア
行政	移行・B型等	段ボールコンポスト作成	3つの施設でシェア
行政	移行事業所	公衆トイレの清掃	市内5カ所
行政	地活Ⅱ型	市営住宅の草刈り	市内10カ所程度
民間	移行・B型	高菜漬け作業	スポットで10日間程度
民間	移行事業所	農作業	農家と委託契約

今後の展望

- 優先調達推進法への対応を強化するため、こちらから積極的に行政への提案を行っていく。
- 施設外就労や施設外訓練からのステップアップとして、企業での障害者雇用につなげていくための活動を強化。
- 行政や経済団体と協働し、企業等への情報発信を強化。

〈企業〉⇒〈施設外就労〉



高菜漬け

就労継続支援B型事業所

〈市〉⇒〈施設外就労〉



市営住宅の草刈り

地域活動支援センターⅡ型

〈農家〉⇒〈施設外訓練〉



農作業

就労移行支援事業所

〈イベント企画会社との協働〉



物品販売会

〈市〉⇒〈施設外訓練〉



公衆トイレの清掃

就労移行支援事業所

事業所より一言

当法人は、1999年12月9日、身体・知的・精神3つの障害と、当事者・その家族・支援者3つの立場を超えて、大牟田市内の主だった団体・施設で大牟田市障害者協議会を結成して以来、すべての市民につながる非営利の社会貢献活動に取り組んでいます。2001年8月にはNPO法人格を取得し、市や市民活動団体、企業等と協働し、ユニバーサルな街づくりに参画しています。(2014年3月現在26団体で構成)

〈市〉⇒〈雇用〉〈実習〉



資源物の選別

本事例の事業所紹介



NPO法人 大牟田市障害者協議会

〒836-0041
福岡県大牟田市新栄町16番地11の1



TEL 0944-57-7161 FAX 0944-57-7163

カテゴリ【4】企業との連携

密閉型植物工場において水耕栽培による
レタス栽培を行っている

Point

- 無菌室での栽培により長期間の保存が可能。
- 地域のスーパー等と連携し、出荷を行っている。
- 支援者側の視点よりも利用者側の視点で運営。

フランス産
オランダ産



障がいのある利用者さん



就労継続支援A型勤務



あんスリー武雄



水耕栽培による生産

取り寄せ



スーパー



コンビニ



イベント販売



ホテル・飲食店

出荷

事業実施のきっかけ、経緯

- 一般家庭でも毎日使えるような手軽なものを就労継続支援A型で作れたかった。
- 地域との連携をはかる為、地域に競争相手がいない事、なおかつ武雄市の名産品となり得るものを選定した結果今のフリル・アイス（レタス）に行きついた。
- 自分が作っているものが地域に出て実際に売れているという事の喜びを利用者に感じて欲しかった。
- 障がい者雇用は国や県等も後押しを行っているが特に知的障害者の働く場が余りにも少ない。

事業概要

- 完全なる環境管理の元、育てていくので種まきから1か月半程で出荷を行える。
- 無菌製法で栽培を行っている為、みずみずしさやシャキシャキ感が長期間保たれる。そのレタスを障がいのある方が作っているという程度のスタンスで運営を行っている。
- 専門知識を得るために、職員全員が水耕栽培に関する研修に参加している。

成果

- 独自のルートより特殊な種の入手を行い、その種を使うことにより、上下逆さまに根をはる事が無くなり、生産の向上につながっている
- 今現在、スーパー・コンビニ・ホテル・飲食店等に月間6000袋強の出荷を行っている。
- イベント等で試食をしてもらい10人に7～8人は購入して頂いておりリピーターも増え、販路拡大に繋がっている。

今後の展望

- まずは経営を軌道に乗せ、第2・第3工場を設立し、50名程（現在12名雇用）の障がいを持つ方の雇用を行い、長年勤められる様な事業所にしていき障がいを持つ方の老人ホームの建設も行いたい。

作業工程



播種・発芽



育苗



収穫



梱包



出荷



作業風景

事業所より一言

- ・安心な野菜です
- ・安全な生産です
- ・安定した出荷です

3つの**安**で「あんスリー」という事業所名にしました。

本事例の事業所紹介



NPO法人 緑風会

あんスリー武雄

〒849-2341

佐賀県武雄市武内町梅野字船石

19121番

TEL 0954-27-2384

FAX 0954-27-2385

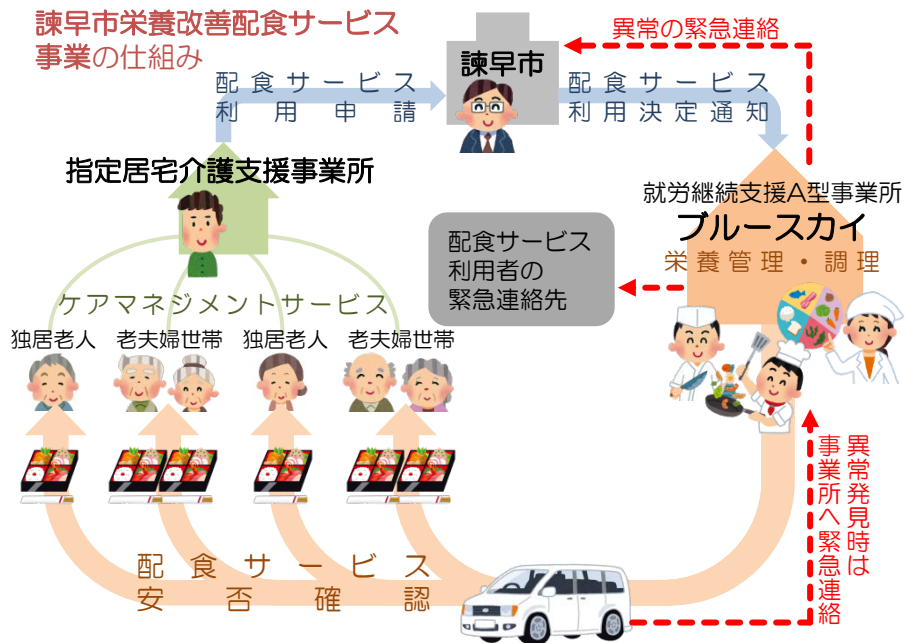
自治体委託による 栄養改善配食サービス

Point



- 地域貢献
- 障がい者の就労の場としての業務内容の拡大
- 高齢者食のノウハウ構築

諫早市栄養改善配食サービス 事業の仕組み



事業実施のきっかけ、経緯

- 自治体より「諫早市栄養改善配食サービス事業」の委託を受け、過疎地域で生活されている独居老人宅への配食サービス（夕食）を行う。

事業概要

- 買い物が不便な過疎地域において、調理が困難な独居老人宅や高齢世帯へ弁当形式の夕食を配達している
- 1食700円の食事を360円（高所得者は460円）で提供。自治体が差額を補い、個人負担を軽減している

成果

- 管理栄養士による献立で栄養管理が図られ、体調が良かったとの声が聞かれる
- 過疎地域での買い物の負担軽減、調理の負担軽減
- 配達時に安否確認を行い、緊急連絡体制を確立

今後の展望

- 委託事業外の一般利用への拡大が見込まれる
- 自治体の予算が反映されるため、継続性は不透明

● 弁当の調理・盛り付け



● 各世帯への配達



● 高齢者食の弁当



本事例の事業所紹介



社会福祉法人 南高愛隣会
就労継続支援A型事業所
ブルースカイ

〒854-0001

長崎県諫早市福田町357-1

TEL 0957-35-4880 FAX 0957-21-0572

カテゴリ【7】共同受注

優先
調達

役務
管理

事業所が共同で自治体のニーズに応える。一つの実績をもとに新たな発注へ

Point

- 国体を使うのぼり旗の管理を委託
- 新たな発注事例のアイデアの一つに
- 一つの発注が成功すると、更に可能性が広がる



本事例の背景

- 諫早市では公用地や公共の建物の除草作業（2事業所）や国体リハーサル大会でののぼり旗の設置、管理、撤収作業（5事業所）など受注量が多く、短期間に人手が必要な仕事を複数の事業所で共同で行っている。
- 共同受注窓口は、受注内容に対応可能な複数の障害福祉サービス事業所にあっせん・仲介する業務を行う調達の際に活用できるものである。

本事例おける、それぞれの役割や経過

諫早ワークセンター・共同受注窓口

- 国体リハーサル大会でののぼり旗の設置、管理、撤収作業を市内の5事業所で行う。
主な業務内容は大雨・風雪時ののぼり旗の撤去や、古くなったのぼり旗の交換等を行う。
- 自治体の発注を複数の事業所で共同で受注し、協力しながら成果をあげている。

諫早市役所

- 優先調達推進法により、障害者就労施設に何を発注できるかを検討している。

本事例における効果

- 一つの成功事例をもとにして、現在は印刷等の発注を行うなど、発注の促進に繋がっている。
- 小規模の福祉事業所では、大量の受注に対応できないため、複数の事業所で実施することで事業所の利用者特に障害が重い方の仕事づくりが可能となった。

「諫早ワークス」の事業所紹介



社会福祉法人つかさ会 諫早ワークス
(就労継続支援B型)

所在地

〒854-0007

長崎県諫早市目代町1816-1

カテゴリ【4】企業との連携

【ドライブレコーダー運転状況調査】

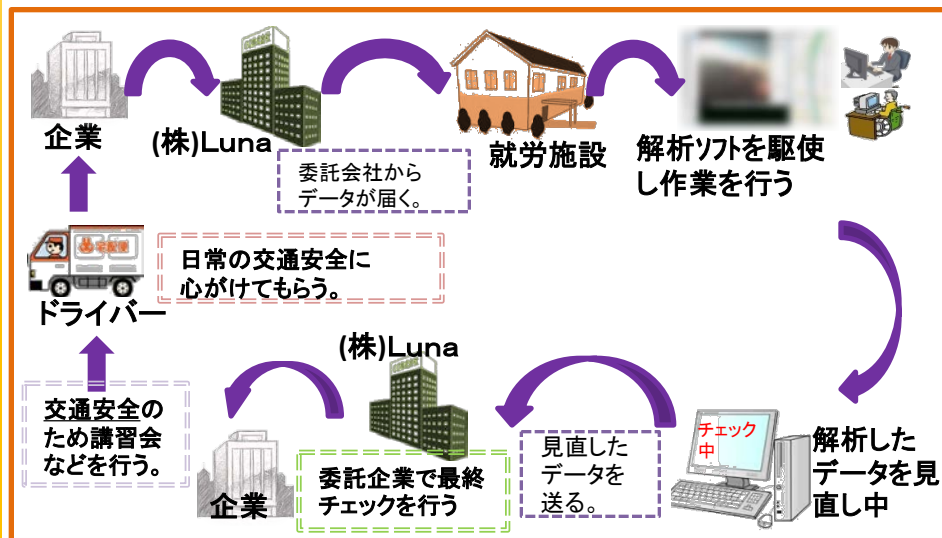
ポイント

- ◇ 委託事業である。
- ◇ 詳細調査と簡易調査がある。

詳細調査：交通事故発生リスク調査

(データを省略して見てはいけない!!)

簡易調査：データをすべて見るのではなく、指定された項目を切り出す。



事業実施のきっかけ・経緯

株式会社Lunaが「障害者の就労機会を作りたい」と考えていた。

そんな時、スポーツを通じLunaと知り合った。

そこで、Lunaの「世の中から交通事故を無くす」という

理念に賛同したのが作業依頼へつながったきっかけである。

現在、長崎県内複数事業所で共同作業を行っている。

また、3ヶ月の研修期間中も「研修費」があるため委託を受ける施設としても時間をかけてしっかりと研修を行うことができる。

事業内容

- ◆ ドライブレコーダに記録された運転行動調査をする
- ◆ 良否の評価をするではありません。
- ◆ 事実を伝えること、鏡に徹すること。
- ◆ 切り出し基準に合わせて調査を行う。
- ◆ 見落としがないようにする。

流れ・結果

◆ 流れ

- ① 研修が3ヶ月間程あり、その解析練習結果をみて次のステップに移るか判断する。
- ② 企業からのデータを自分たちの判断ではなく、Lunaの規格にそった解析作業を行う。

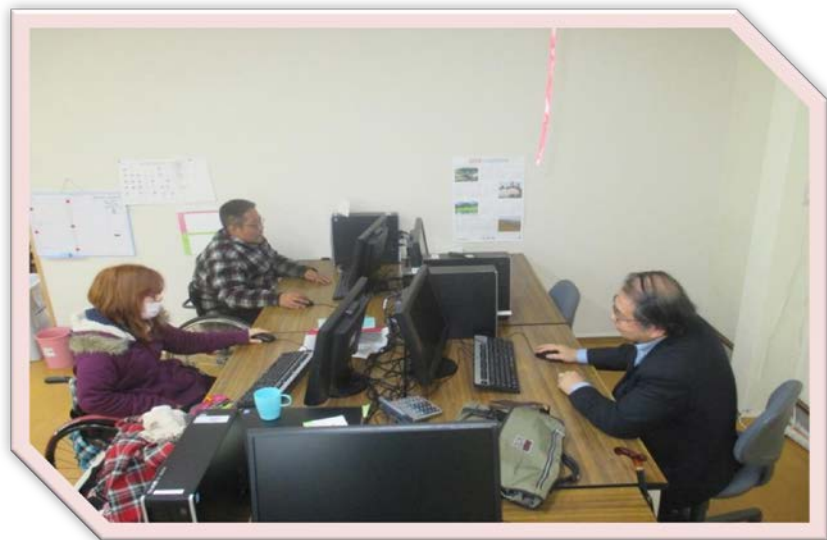
◆ 結果

話し合いながら切り出し(解析)を行う。
また、自分たちの交通ルールの再認識につながり、「注意しよう」という心構えにもなる。

今後の展望

解析を行うことで企業だけではなく、自分たちの事故の軽減にもつながる。

また、委託の作業であるため将来的に在宅での仕事につながり **工賃アップ**の見込みがあると思われる。



解析で使用するソフト等



キャッチアップよりひとこと

解析作業は、集中力・やる気・根気・ある程度の交通ルールの認識を要する。やりがいのある仕事である。また、話し合いをもつことでコミュニケーションの場としても活用できる。

本事例の事業所紹介



合同会社
キャッチアップインサポート

〒854-0005
長崎県諫早市城見町29-39

(キャッチアップインサポート)

TEL 0957-47-5579

FAX 0957-47-5443

